

## 事業実績書

団体名	仁保地域開発協議会
-----	-----------

## 1 総括

地域の団体組織や集落の意見をもとに地域づくり計画を策定し初年目の取り組みとなったが、地域広報や地域福祉活動など地域の課題に対応した色々な活動を行うことが出来た。今後地域づくり計画に沿ってその活動を充実していく。

## 2 事業内容

## (1) 協議会運営

事業費	3,117,697円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長 1名、事務員 1名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 活動計画に基づき滞りなく事務局運営を行った (今後に向けて) 地域づくり計画の実践の体制強化を図っていききたい。

## (2) 地域振興

事業名	地域広報紙発行事業
事業費	720,035円
事業概要	(実施内容) 地域広報紙「仁保自治会・仁保地域開発協議会だより」の発行 (実施時期) 平成22年4月～23年3月 (参加人数) 地区内全戸(約1000戸)に対し年6回発行 (成果・評価) 自治会だよりを発行することにより地域づくり計画の周知と諸活動への参加を促す。 (今後に向けて) 今後広報の充実を図り住民の一層の参加を促す。
事業概要	(実施内容) カラーコピー機の購入 (実施時期) 平成23年3月 (参加人数) - (成果・評価) 印刷機能・性能がアップし広報紙をはじめ広報の媒体の表現力の向上が図られた。 (今後に向けて) 今後一層の読みやすく分かりやすい広報紙づくりに取り組む。

事業名	ホームページによる情報発信事業
事業費	90,300円
事業概要	(実施内容) 地域独自でインターネット環境を整えた(自治会) (実施時期) 平成22年9月 (参加人数) - (成果・評価) 地域が主体となってホームページ等の運営に取り組むことが出来る。 (今後に向けて) インターネット等を通じた情報発信等の充実を図る。

事業名	看板・パンフ・案内板の作成事業
事業費	338,205円
事業概要	(実施内容) 地域の名所旧跡の総合案内看板・パンフを作成し拠点施設に設置し地域内外に情報発信した (実施時期) 平成23年2月 (参加人数)- (各地区の住民により看板を設置した) (成果・評価) 交流人口の多い拠点施設で情報発信することにより、交流機会が広がり地域の活性化につながる。 (今後に向けて) パンフレット等と連携させ対外的にも仁保の名所のアピールを行う。

事業名	地区内電話帳の作成事業
事業費	101,102円
事業概要	(実施内容) 仁保地区の電話帳を作成した。 (実施時期) 平成22年11月 (参加人数) 949名 (成果・評価) 地域住民の相互コミュニケーションが促進される。 安全安心の相互確認や災害時の緊急連絡に役立つ。 (今後に向けて) 地域住民の一層のコミュニケーションと緊急時の連絡網に活用する

### (3) 地域福祉

事業名	生きがい・健康づくり支援事業
事業費	300,994円
事業概要	(実施内容) 高齢化に伴う認知症への理解と予防を啓発した。 (実施時期) 平成23年3月 (参加人数) 120人 (成果・評価) 認知症の理解を深める冊子を全戸配するとともに、認知症サポーター養成講座を開催することで理解と対応への認識を深めた。 (今後に向けて) 高齢化が進んでいるため今後も引き続き啓蒙活動を行う。
事業概要	(実施内容) 健康づくり活動資材(テント)の購入 (実施時期) 平成22年10月 (参加人数) - (成果・評価) 健康づくりの体育行事や青少年育成行事等活用頻度が高い。 (今後に向けて) 今後一層の利用を図っていく。

(4) 安心・安全

事業名	交通危険箇所整備事業
事業費	220,000円
事業概要	(実施内容) 道路側溝の溝蓋を設置した。 (実施時期) 平成23年3月 (参加人数) - (成果・評価) 道路が狭く通行者が危険な状態であったが改善された。 (今後に向けて) 定期的に集落点検を実施し危険箇所の整備を図っていく。
事業概要	(実施内容) 反射鏡の修理 (実施時期) 平成22年12月 (参加人数) - (成果・評価) 既設の反射鏡が破損した状態であったが修理し機能するようになった。 (今後に向けて) 定期的に集落点検を実施し反射鏡の整備を図っていく。

事業名	交通安全促進事業
事業費	97,721円
事業概要	(実施内容) 交通安全のため夜間の反射ステッカーを地区全戸に配布する。 (実施時期) 平成22年9月 (参加人数) 1050戸 (成果・評価) 夜間の交通事故防止のために反射ステッカーを全戸に配布し夜間着用持参するものに貼り付け運転者に発見しやすいようにした。 (今後に向けて) 夜間の交通事故防止に向けて交通安全の啓蒙と対策を進めていく。

事業名	災害防止活動事業
事業費	346,500円
事業概要	(実施内容) 仁保川の河川内立木の除去 (実施時期) 平成23年3月 (参加人数) - (成果・評価) 河川内の各所に立木があり、大水時に災害の恐れがあったが、伐採した箇所については危険性が回避された。 (今後に向けて) 定期的に集落点検を実施し計画的に除去を進めていく
事業概要	(実施内容) 災害防止用土のう袋の配置 (実施時期) 平成22年9月 (参加人数) 23集落集会所等に配置 (成果・評価) 大雨等の災害発生予防対策として集落に土のう袋を配布し初期の災害防止対策を講じる。 (今後に向けて) 集落に必要枚数を常時配置し、初期災害防止に努める。

事業名	防犯対策事業
事業費	232,115円
事業概要	(実施内容)防犯灯の設置 (実施時期) 平成23年3月 (参加人数) - (成果・評価) 通学路となっている道路と仁保駅周辺に防犯灯を設置し夜間の防犯対策が図られた。 (今後に向けて) 定期的に集落点検を実施し計画的に整備していく。

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	652,000円
事業概要	(実施内容)法定外公共物の整備 (実施時期) 平成22年10月～平成23年3月 (参加人数) 14人 (成果・評価) 法定外公共物の整備を4箇所行った。 (今後に向けて) 地域の要望を把握し随時対応していきたい。

事業名	土木事業(単市土地改良)
事業費	1,655,000円
事業概要	(実施内容) 農業用施設の整備を行った。 (実施時期) 平成22年10月～平成23年3月 (参加人数) 6人 (成果・評価) 農業用施設の整備を2箇所行った。 (今後に向けて) 地域の要望を把握し随時対応していきたい。 ※総務費対応分の830,000円分は繰り越して実施

事業名	道路環境美化 (市道の草刈)
事業費	500,000円
事業概要	(実施内容)市道の草刈による整備 (実施時期)平成22年5月～11月 (参加人数)477人 (成果・評価) 仁保地区内の市道の維持対応を行った。 (今後に向けて) 毎年この事業に取り組み市道の整備に取り組んでいく。

事業名	美しい環境づくり啓蒙事業
事業費	111,400円
事業概要	(実施内容) 仁保地区の空缶ゼロ清掃活動 (実施時期) 平成23年2月 (参加人数) 225人 (成果・成果) 地区の道路周辺の清掃を行い地域美化意識の高揚と不法投棄防止の啓発を行うことが出来た。 (今後に向けて) 今後も継続して取り組む。

事業名	不法投棄防止事業
事業費	49,770円
事業概要	(実施内容) 仁保地区内のごみの不法投棄が多い場所に防止看板を設置 (実施時期) 平成22年7月 (参加人数) 仁保地区6箇所 (成果・評価) 看板を設置した箇所については不法投棄が減少した。 (今後に向けて) 毎年集落点検を行い不法投棄の多い場所に看板を設置する。

事業名	美しい環境維持事業
事業費	124,492円
事業概要	(実施内容) 地域交流センター周辺を美観地区に設定し環境美化の植栽等を行う (実施時期) 平成22年9月 (参加人数) 50名 (成果・評価) 地域の中心部の環境美化によって地域イメージが良くなった。 (毎年あゆの放流・コイノボリの掲揚・花の植栽等を行っている。) (今後に向けて) 毎年地域の美観地区として環境美化に取り組んでいく。

事業名	花いっぱい推進事業
事業費	57,080円
事業概要	(実施内容) 地域内の14地区の集落花壇に花を植栽し環境美化を行う。 (実施時期) 平成22年6月 (参加人数) 仁保地区14集落 (成果・評価) 子ども会・老人クラブの活動として行い相互のコミュニケーションの促進 集落美化につながった (今後に向けて) 継続して取り組んでいく。

事業名	その他環境づくり事業
事業費	1,700円
事業概要	(実施内容) 仁保地域交流センターのビオトープの整備 (実施時期) 平成22年8月 (参加人数) 25名 (成果・評価) 仁保地域交流センターのビオトープへ仁保の生物を放流。 (今後に向けて) 毎年の行事として定着させていく。

#### (6) 地域個性創出

事業名	地域イベント活性化事業
事業費	116,486円
事業概要	(実施内容) 仁保大農業まつりの実施 (実施時期) 平成22年11月 (参加人数) 約4000人 (成果・評価) 会場を地域交流センターと道の駅エリアで行い祭りの内容が充実した。 (今後に向けて) 農業まつりの内容を一層充実していく。

事業名	郷土の歴史・文化伝承事業
事業費	133,000円
事業概要	(実施内容) 仁保地区の名所史跡看板の設置 (実施時期) 平成23年2月 (参加人数) 地区内19箇所 (成果・評価) 看板を設置することにより住民の意識高揚するとともに交流環境 が整備された (今後に向けて) 今後集落ニーズを掘り起こし地域の名所を紹介していく。